

しょくいく 食育だより

10月増刊号

宇都宮市立城東小学校

じもと やさい のうひん
地元野菜を納品してくれている（株）サンシーサービスさんにお邪魔しました



ピーマン

こちらの施設は、「未来循環型食環境システム」といい、野菜を育て給食で提供し、給食の残菜を肥料に作り替え、その肥料を畑にまく、そして野菜を育て…という循環型の施設です。施設内に肥料の工場と畑、選果場もあります。

じしや はだけ たんほ つぼ けいやくのうじょう
自社の畑（9反歩2,700坪）と契約農場があります。

未来環境型食循環システム（やさいくる）



せんかじょう
選果場

ここで野菜についた土を落としたり、洗ったりします。その後、選別された学校などに運ばれて行きます。



うち
プラント装置アゼリア



こうじょうない きゅうしょく ざんさい ひりょう
この工場内で、給食の残菜を肥料にしています。これは出来上がった液肥が入ってます。



よしむらきよかずこ もん はなし うかが
吉村清和顧問にお話を伺いました。

「15年前からこのような取り組みを始めました。給食で残ったものに微生物を加え肥料を作っています。この肥料は栄養豊富なため、野菜が良く育ちます。えぐみが少くなり、糖度もあがります。自然に近い状態で野菜を育てることが出来ています。農薬の使用は通常の1/3ほどで済んでいます。」